

米国ウィークリー

“落ち着きも、余震続く？”

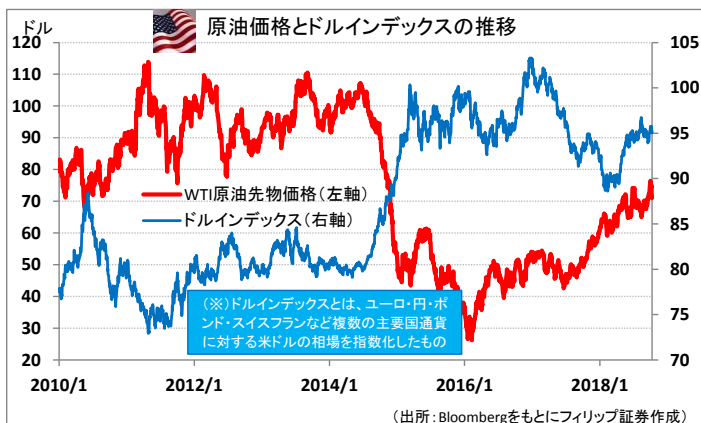
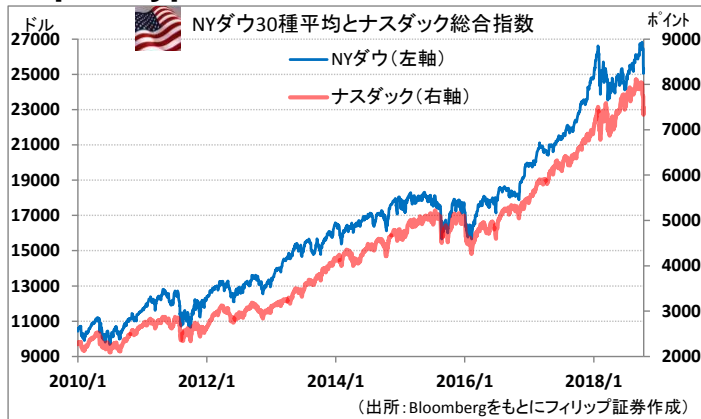
リサーチ部 庵原 浩樹 増淵 透吾

Tel: 03-3666-2101

E-mail: hiroki.i.hara@phillip.co.jp togo.masubuchi@phillip.co.jp

2018年10月16日号(2018/10/15 作成)

Report type: ウィークリーストラテジー



“落ち着きも、余震続く？”

落ち着きを取り戻したかに見える株式市場であるが、暫く振れ幅の大きい展開もあり得る。急伸した10年国債利回りがトリガーとなり、株式相場は10/10、11に急落。10/12現在、NYダウは過去5営業日で10/9の直近高値26,539.94ドルから10/11には一時24,899.77ドルまで急落。値幅は1,640ドルに達した。10/3以降上昇し、3%台定着の10年国債利回りは10/9に3.26%近辺まで急伸。投資家マインドが急激に悪化し、リスク資産である株式が大きく売られる展開となった。

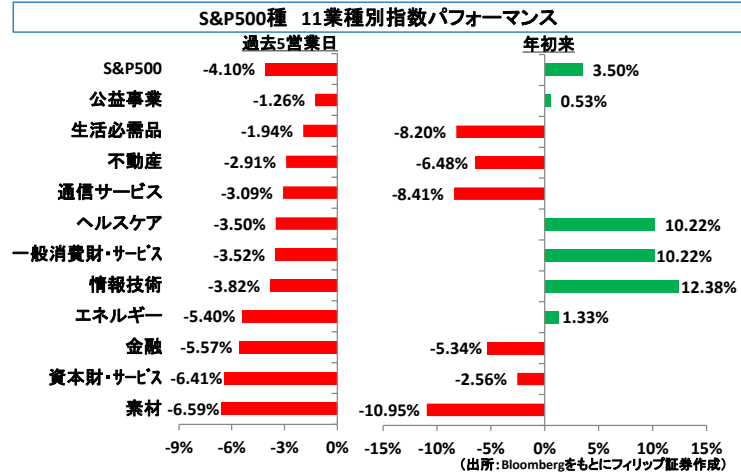
ウォール街では、多くの市場参加者がリスク資産に比べ安全資産の魅力が高まる水準を3.5%と見ているようだ。投資家の先行き不透明感や恐怖心を示すVIXは、通常の範囲である10-20の上限を上抜け、10/11に一時28.84まで上昇。10/12にも26.80に達した。今年2月の株価急落局面ではVIXは37.32まで達しその後急低下したが、4月半ばまでほぼ20を超える展開となった。株式相場は値幅を伴うダウントレンドとなった。ただ、200日移動平均線が下値サポートとなり、4月初旬以降再び上昇トレンドを描いた。

NYダウは今回、一気に200日移動平均まで下落。予想PERはNYダウで約16倍(株式益回りは6.3%)、S&P500で約17倍(同5.9%)に低下(益回りは上昇)。ヒストリカルに見て割安であり、決算発表本格化で業績期待が高まり、ボラティリティが高い中でも底堅い展開になるものとみている。

2018/7-9月期決算で、10/11発表の**デルタ航空(DAL)**はファーストクラスやビジネスクラスの販売が好調で収益が大幅に拡大。10-12月期の会社計画も市場予想を上回る見通しで株価が上昇。WSJによれば、景気拡大、労働市場逼迫で雇用確保のため、企業が出張の多い従業員などにビジネスクラスやファーストクラスの利用を認めるケースが増加している模様。航空業界の勝ち組は恩恵を受ける状況が想定される。10/12には**JPモルガン・チェース(JPM)**、**シティグループ(C)**、**ウェルズ・ファーゴ(WFC)**などが決算を発表し、トレーディング収益拡大、コスト削減成功などから軒並み好決算となった。金利上昇、株高などから引き続き銀行、投資銀行などにも注目したい。ただ、金利動向次第で当面、マーケットは振れ幅の大きい展開も想定される。業績動向とPERやPEGレシオ(利益成長を加味したPER)などをチェックし、銘柄選択を心掛けたい。(庵原)

10/16号では**アポットラボラトリーズ(ABT)**、**シティグループ(C)**、**CFインダストリーズ・ホールディングス(CF)**、**デルタ航空(DAL)**、**ウォルグリーン・ブーツ・アライアンス(WBA)**、**ウォルマート(WMT)**を取り上げた。

■S&P500 業種別および NYダウ構成銘柄の騰落率(10/12 現在)



■主な企業決算の予定

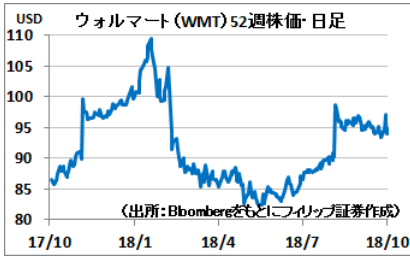
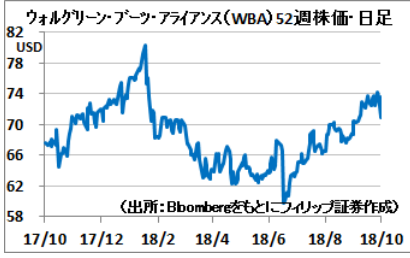
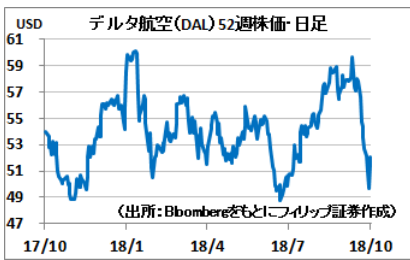
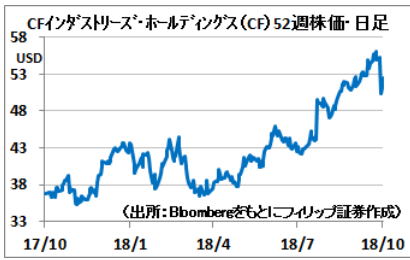
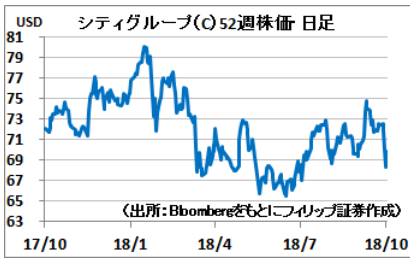
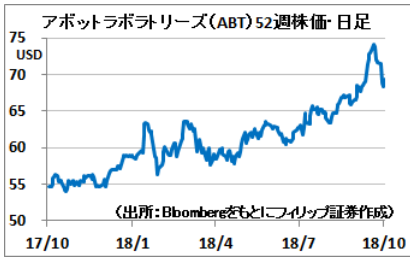
- 16日(火): IBM、ブラックロック、J&J、モルガンS、ゴールドマン、ネットフリックス
- 17日(水): アルコア、ASMLホールディング
- 18日(木): TSMC、SAP、ノバルティス、ブラックストーン、アメックス、ペイパル
- 19日(金) ボルボ、P&G

■主要イベントの予定

- 10月16日(火)
 - ・10月のNAHB住宅市場指数、9月の鉱工業生産、8月の求人件数
 - ・中国9月のCPI・PPI
- 10月17日(水)
 - ・FOMC9月25、26日開催分の議事録
 - ・ブレインードFRB理事講演
 - ・カナダが大麻合法化
 - ・EU首脳会議・夕食会(ブリュッセル)
 - ・香港休場
 - ・9月の住宅着工件数、9月の建設許可件数
- 10月18日(木)
 - ・クォールズFRB副議長(銀行監督担当)、セントルイス連銀総裁講演
 - ・EU首脳会議(ブリュッセル)
 - ・9月の景気先行指標総合指数、13日終了週の新規失業保険申請件数
- 10月19日(金)
 - ・ダラス連銀総裁講演、アトランタ連銀総裁講演
 - ・9月の中古住宅販売件数
 - ・中国7-9月のGDP、中国9月の小売売上高・工業生産・都市部固定資産投資
- 10月20日(土)
 - ・アトランタ連銀総裁講演
 - ・中国9月の新築住宅価格

(Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

■ 銘柄ピックアップ



- ◇ **アボットラボラトリーズ(ABT)市場:NYSE...2018/10/17に2018/12期3Q(7-9月)の決算発表を予定**
 - ・1900年に設立したヘルスケアカンパニー。栄養剤製品、医療機器、診断薬・機器、医薬品などを提供する。医薬品はジェネリック医薬品が中心。栄養剤では「シミラック」、「エンシュア」、「グルセルナ」、「ペディアシュア」、「EAS」、「ゾーンパーフェクト」などのブランドを展開する。
 - ・2018/12期2Q(4-6月)は、売上高が前年同期比17.0%増の77.67億 USD、純利益が同2.6倍の7.33億 USD。Alere の買収により感染症検査薬の販売が伸びた。企業買収や事業売却の影響を除くベースでは8%増収。調整後 EPS は0.73USD と市場予想の0.70USD を上回った。
 - ・2018/12期3Q(7-9月)の会社計画は、調整後 EPS が0.73-0.75USD。2019/2通期会社計画は、オーガニック EPS が1.34-1.40USD、調整後 EPS が2.85-2.91USD である。通期市場予想は、売上高が前期比12.3%増の307.53億 USD、当期利益が同6.6倍の31.70億 USD。(増潤)
- ◇ **シティグループ(C)市場:NYSE...2019/1/14に2018/12期4Q(10-12月)の決算発表を予定**
 - ・1812年設立の総合金融大手。銀行、カードビジネス、投資銀行、証券、資産管理などの分野において幅広い金融商品やサービスを提供し、世界160以上の国・地域で展開している。
 - ・2018/12期3Q(7-9月)は、総収益が前年同期比0.2%減の183.39億 USD、純利益が同11.8%増の46.22億 USD。EPS は1.73USD と市場予想の1.65USD を上回った。メキシコの資産運用事業や債券分析事業の売却などの影響を除くと同4%の増収。税費用減少も増益に寄与した。
 - ・2018年1-9月累計の有形自己資本利益率(RoTCE)は11.2%と2018/12通期の会社計画の10.5%を上回った。経費率も57.3%と前年同期の58.1%から改善しており、コスト削減政策の進捗が伺える。2018/12通期の市場予想は、当期利益が164.41億 USD と黒字転換。(増潤)
- ◇ **CF インダストリーズ・ホールディングス(CF)市場:NYSE...2018/10/31に2018/12期3Q(7-9月)の決算発表を予定**
 - ・1946年に地方農協のグループによる肥料仲介事業として設立。窒素肥料のグローバルリーダーで、世界規模の窒素コンビナートを所有・運営するほか、農業サービスを提供している。
 - ・2018/12期2Q(4-6月)は、売上高が前年同期比15.7%増の13.00億 USD、純利益が同49.3倍の1.48億 USD。EPS は0.63USD と市場予想の0.45USD を上回った。春先の気温上昇が遅れたことによる需要の持越しが生じたほか、中国の環境規制などによる販売価格の上昇が寄与。
 - ・同社は年内に窒素肥料容量430万メートルトン分の生産能力の増強を計画しているが、中国、ブラジル、クウェートなどでのプラント停止により相殺されるという。2018/12通期の市場予想は、売上高が前期比8.7%増の44.88億 USD、当期利益が同2.0%減の3.51億 USD。(増潤)
- ◇ **デルタ航空(DAL)市場:NYSE...2019/1/10に2018/12期4Q(10-12月)決算発表の予定**
 - ・1924年創業の航空会社。自己所有で656機、リースで191機の合計847機の航空機を保有。62カ国に334航空路線を展開し年間乗客数は1.8億人超。アライアンスはスカイチームである。
 - ・2018/12期3Q(7-9月)は、売上高が前年同期比8.1%増の119.53億 USD、純利益が同13.2%増の13.12億 USD。調整後 EPS は1.80USD と市場予想の1.74USD を上回った。プレミアムチケットの販売が好調に推移。貨物輸送やメンテナンス、オーバーホール等のサービスも伸びた。
 - ・2018/12期4Q(10-12月)の会社計画は、売上高が前年同期比8%増、税引前利益率が9-11%、EPS が1.10-1.30USD である。燃料価格は同30%上昇を想定しているが、コストコントロールとトップラインの伸びにより相殺できるものと見ている。2018/12通期市場予想は、売上高が前期比7.9%増の445.07億 USD、当期利益が同5.8%増の37.86億 USD。である。(増潤)
- ◇ **ウォルグリーン・ブーツ・アライアンス(WBA)市場:NASDAQ...2019/1/31に2018/8期1Q(9-11月)の決算発表を予定**
 - ・1849年創業した米国・欧州最大のドラッグストアチェーン。11カ国で「Walgreens」「Duane Reade」「Boots」などのブランドのもと13,200超の店舗を展開。「No7」「Soap & Glory」「Liz Earle」などの自社製品ブランドも提供する。2018/6/26よりダウ工業株30種平均へ組み入れられた。
 - ・2018/8期4Q(6-8月)は、売上高が前年同期比10.9%増の334.42億 USD、純利益は同88.5%増の15.12億 USD。調整後 EPS は1.48USD と市場予想の1.45USD を上回った。買収した「Rite Aid store」の店舗が軌道に乗り始め、ドラッグストア市場での市場シェアが上昇した。
 - ・2019/8通期会社計画は、調整後EPSが為替変動を除くベースで前期比7-12%増の6.40-6.70USD。30億USDの自社株買いを含む100億USDの株主還元も計画。通期の市場予想は、売上高が前期比5.0%増の1,381.35億USD、当期利益は同9.4%増の54.94億USD。(増潤)
- ◇ **ウォルマート(WMT)市場:NYSE...2018/11/15に2019/1期3Q(8-10月)の決算発表を予定**
 - ・1969年設立の小売スーパー・チェーン。「Everyday Low Price」を企業理念に量販店を展開し、衣料、日用品、家電、食品などを販売する。28カ国に進出しており、店舗数は1.1万店超。
 - ・2019/1期2Q(5-7月)は、売上高が前年同期比3.8%増の1,280.28億 USD、純利益が▲8.61億 USD と前年同期の28.99億 USD から赤字転落。季節商品の販売が好調だったが、ブラジル事業売却の影響等で赤字に。調整後 EPS は1.29USD と市場予想の1.22USD を上回った。
 - ・2019/1通期会社計画を上方修正。売上高の伸び率を従来計画の1.5-2.0%から2.0%へ、調整後EPSを4.75-5.00USDから4.90-5.05USDへそれぞれ引き上げた。2019/1通期市場予想は、売上高が前期比3.0%増の5,151.77億USD、当期利益が同8.1%増の106.60億USD。(増潤)

(※)決算発表の予定は10/12現在であり、変更される可能性があります。



フィリップ証券株式会社

Member of PhillipCapital Group

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第127号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

【留意事項】

- 上場有価証券等のお取引の手数料は、国内株式の場合は約定代金に対して上限1.242%(消費税込)(ただし、最低手数料2,160円(消費税込)、外国取引の場合は円換算後の現地約定代金(円換算後の現地約定代金とは、現地における約定代金を当社が定める適用為替レートにより円に換算した金額をいいます。)の最大1.08%(消費税込)(ただし、対面販売の場合、3,240円に満たない場合は3,240円、コールセンターの場合、1,944円に満たない場合は1,944円)となります。
- 上場有価証券等は、株式相場、金利水準等の変動による市場リスク、発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合の信用リスク、外国証券である場合には為替変動リスク等により損失が生じるおそれがあります。また新株予約権等が付された金融商品については、これらの権利を行使できる期間の制限等があります。
- 国内金融商品取引所もしくは店頭市場への上場が行われず、また国内において公募、売出しが行われていない外国株式等については、我が国の金融商品取引法に基づいた発行者による企業内容の開示は行われていません。
- 金融商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので、お取引に際しては、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書又はお客様向け資料をよくお読みください。

【免責事項】

- この資料は、フィリップ証券株式会社(以下、「フィリップ証券」といいます。)が作成したものです。
- 実際の投資にあたっては、お客様ご自身の責任と判断においてお願いいたします。
- この資料に記載する情報は、フィリップ証券の内部で作成したか、フィリップ証券が正確且つ信頼しうると判断した情報源から入手しておりますが、その正確性又は完全性を保証したものではありません。当該情報は作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。この資料に記載する内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- この資料を入手された方は、フィリップ証券の事前の同意なく、全体または一部を複製したり、他に配布したりしないようお願いいたします。

WEB